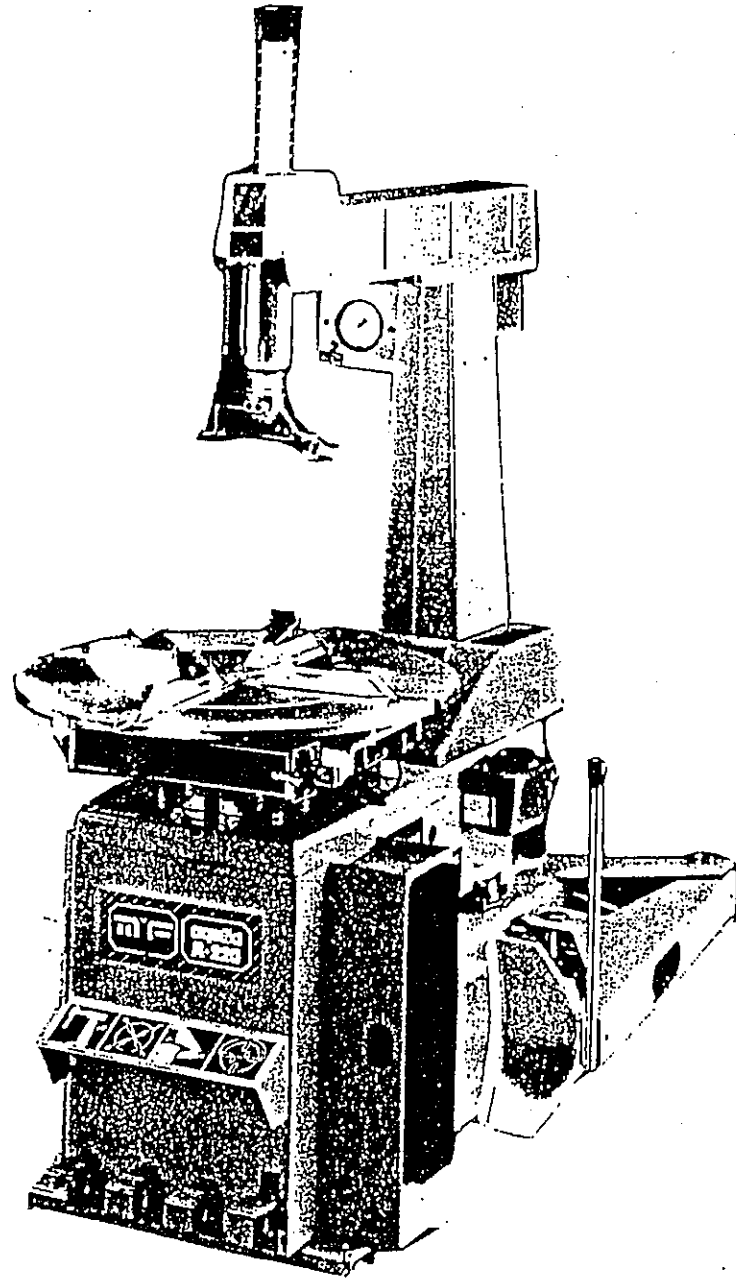


# 取扱説明書

A 220



株式会社 **パンダタイヤサプライズ**

USO E MANUTENZIONE  
USE AND MAINTENANCE

I GB



# 取扱説明書

**A 220**

△ **警告**

製品を使用する前に取扱説明書を注意深く読み、よく理解してからご使用してください。  
この取扱説明書は、いつでも使用できるように、大切に保管してください。

株式会社 **パンダタイヤサプライズ**

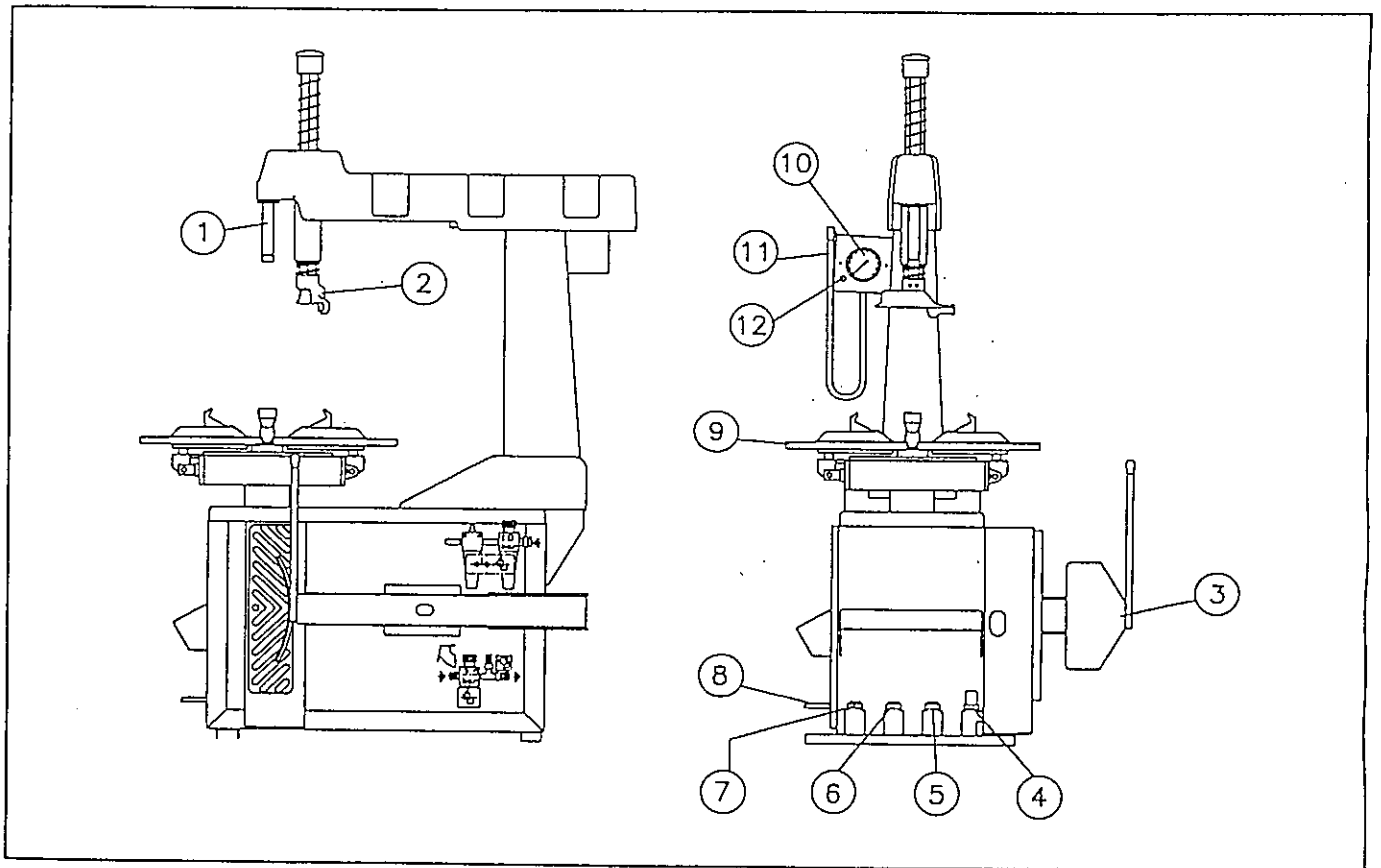
# 目次

ページ

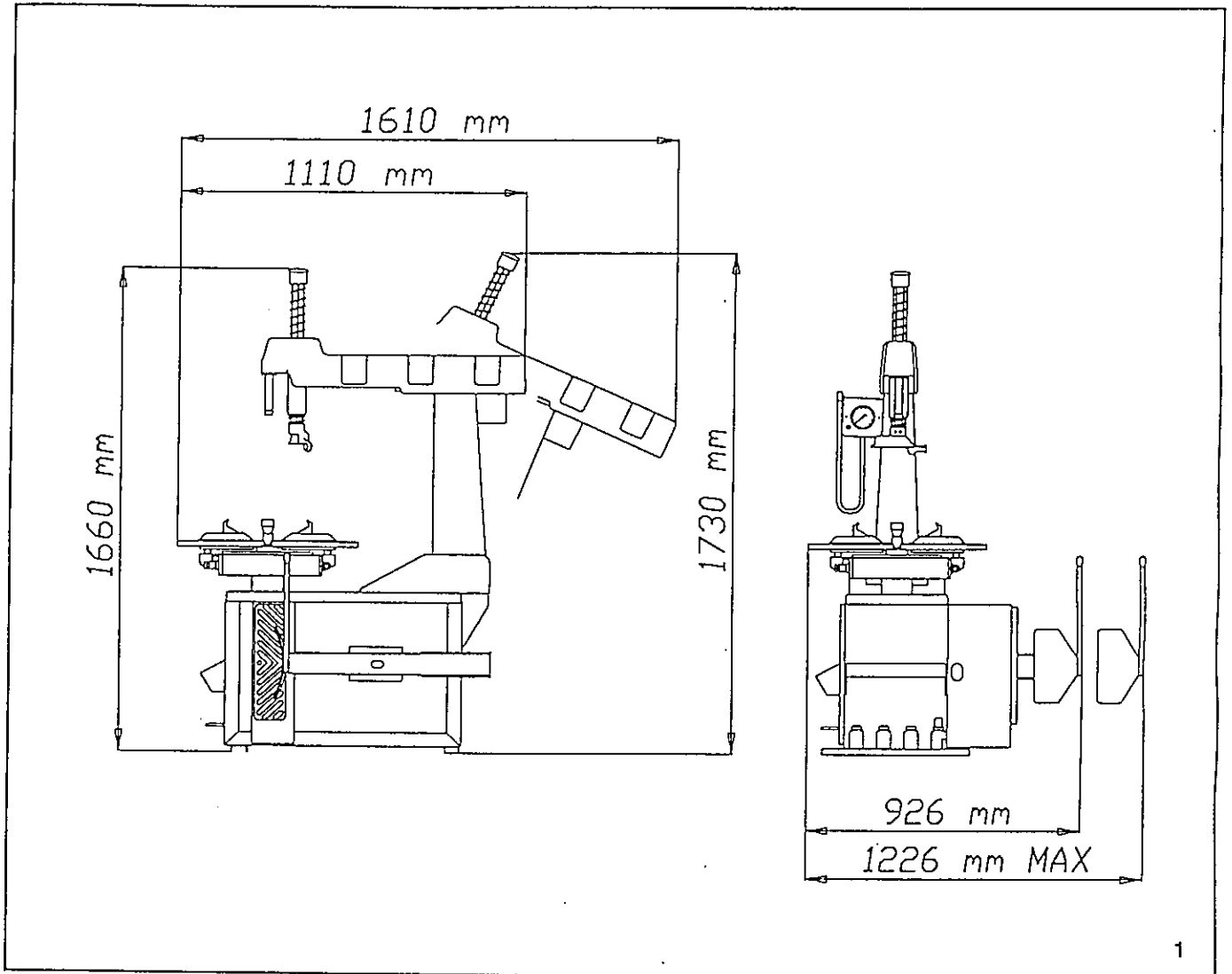
1. 各部名称 .....	3
2. 寸法諸元 .....	4
3. 使用目的 .....	5
4. 安全規定 .....	5
5. 輸送 .....	7
6. 梱包 .....	7
7. 組立及び始動 .....	8
—電気配線— .....	9
8. 設置 .....	10
9. 長期放置の注意 .....	11
10. 廃棄処分時の注意 .....	11
11. 機械諸元 .....	12
12. 日常保守 .....	13
13. 使用	
a) 取り外し .....	14
b) 組み付け .....	16
c) 給気作業 .....	17
14. トラブルシューティング .....	18
15. 部品表について .....	18

## 1. 各部名称

1. 六角シャフトロック装置
2. マウントツール
3. ビードブレイカー
4. ターンテーブル回転ペダル
5. ビードブレイカー操作ペダル
6. チャッキング操作ペダル
7. コラム操作ペダル
8. エアー注入ペダル
9. ターンテーブル
10. エアーゲージ
11. エアーホース
12. 排気ボタン



## 2. 寸法諸元



### 3. 使用目的

このマニュアルは製品の一部です。

安全使用及び保守に関する重要事項が記載されて居ますので、マニュアルに書かれている注意書きや指示書を良く読んで下さい。

当機の本来の設計目的にのみ使用して下さい。他の目的に使用された場合は不適当な使用と見なし、メーカーは、それが原因で起こり得る損害の責めは負いかねます。

### 4. 安全規定

当機の操作に際しては、特に訓練を受け又指定された人のみで行って下さい。

メーカーの承認の無い当機の改造や不適切な干渉が原因と思われる損害の責任は、メーカーはその責めを免ぜられるものとする。安全装置の除去や変更はPL法（安全規定）の侵害とみなします。

- 当機の使用は爆発や火災の危険の無い場所でのみ使用する事。  
ガソリンスタンド等で使用する際には、防爆仕様に改良された機械を設置する事。
- オリジナルアクセサリーのみを使用する事。  
当機はオリジナルアクセサリーのみを使用する様に設計されています。
- 設置は指示された手順で専門家が行う事。
- 操作中に危険な状態が無い事を確認する事。不都合が見つかったら  
即ち機械を止めて下さい。

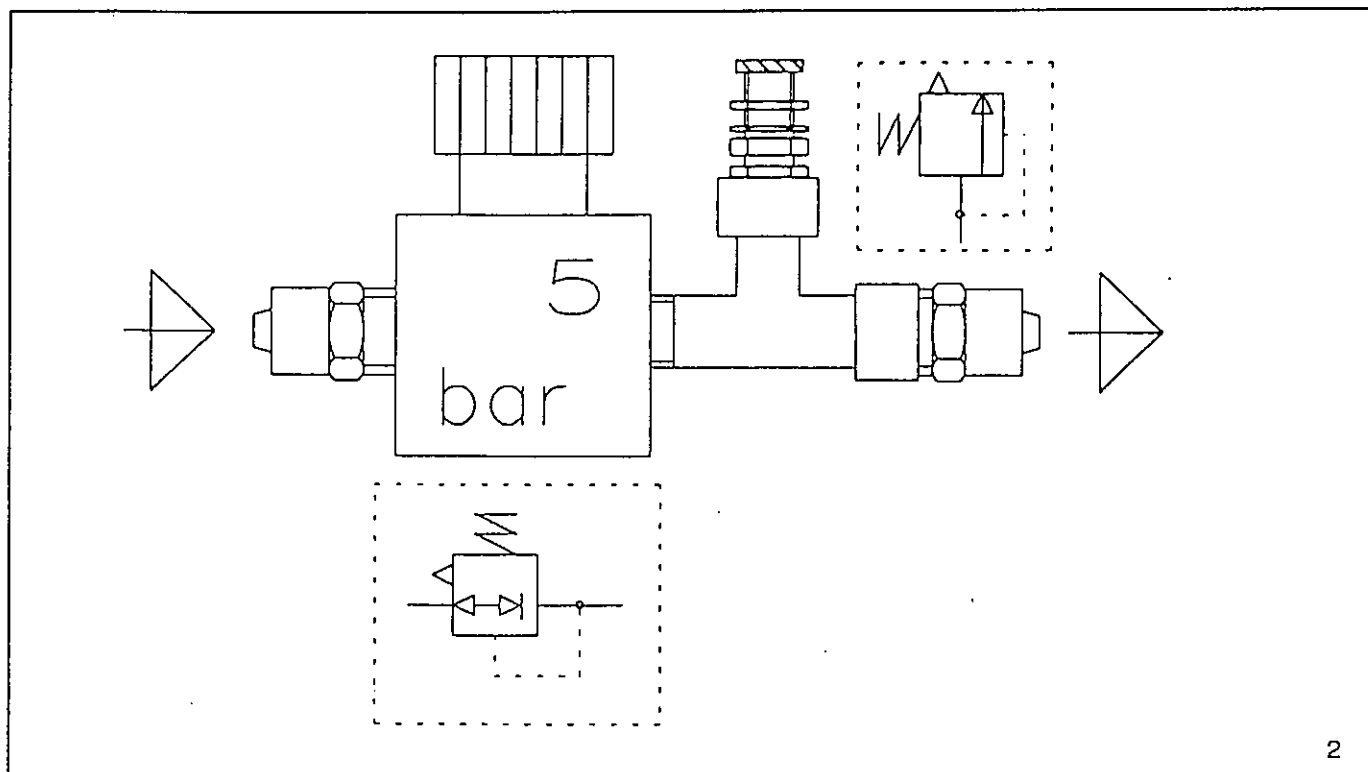


## 注 意

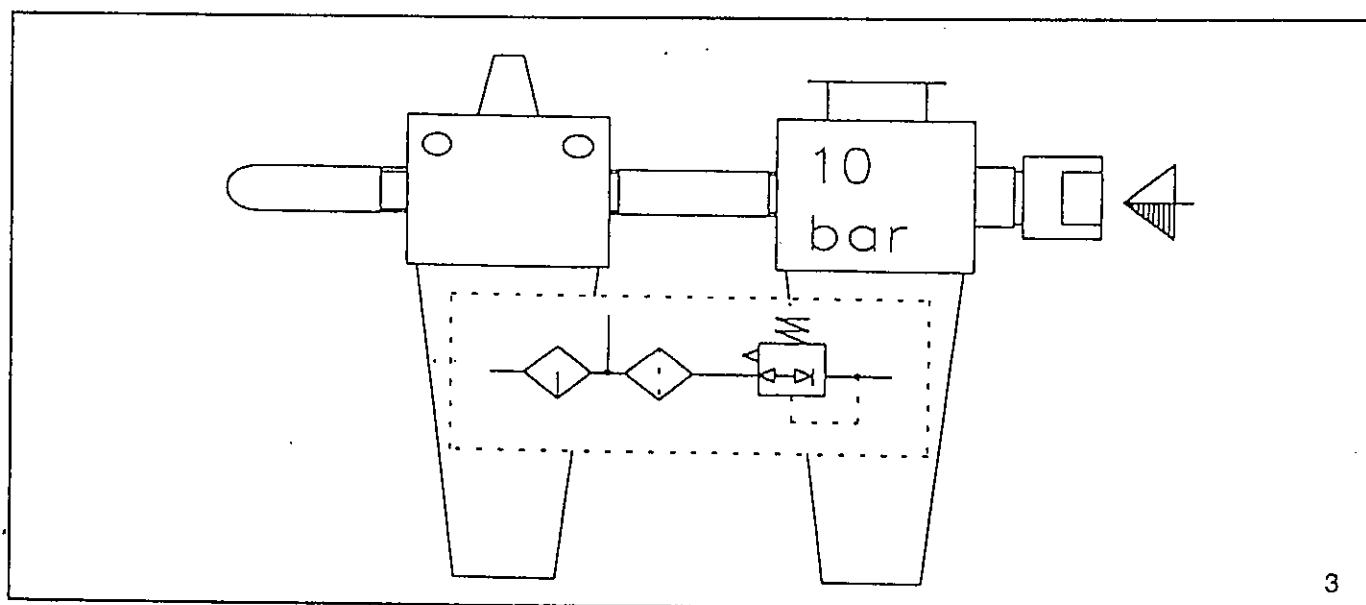
電気関係の工事には、小さな事でも、専門家の手助けを受けて下さい。

## 安全装置データ

—タイヤへの給気は、 5 バールに設定されて居ります。 図2。



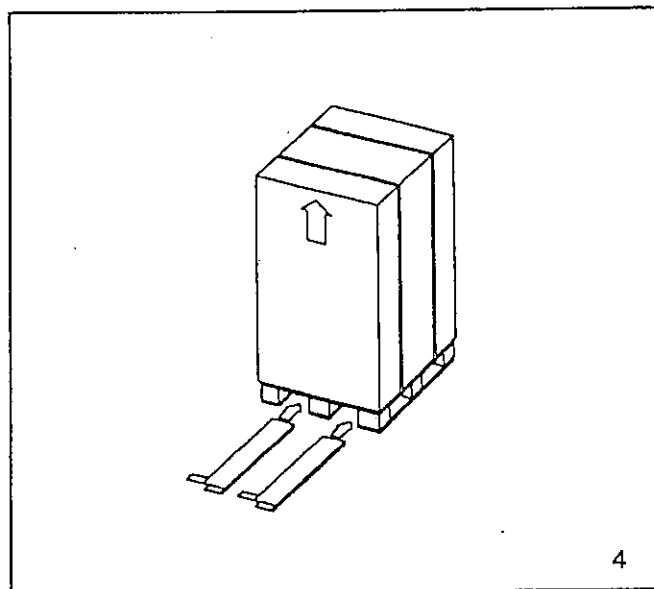
—機械作動空気圧は、 10 バールに設定されております。 図3。



## 5. 運 送

梱包された機械の輸送には下記の方法で行って下さい。

移動に際しては、パレットに乗せて、図4に示した様に適切な場所にフォークリフトを差し込んで行って下さい。



機械が図3のように梱包されていないときには、下記の要領で行って下さい。

- 各角をダンボール等で保護する。
- 鉄製のケーブルは使わないで下さい。
- 200mm以上の長さがあり、1000kg以上の容量があるひもで吊して下さい

## 6. 開 梱

設置場所へ移動したら、当機が完全である事（外観上破損が無い）を確認して下さい。損傷がある場合は、使用しないで業者を呼んで下さい。



### 注 意

付属品の入った箱はラッピング包装されていますので、包装ごと捨てないで下さい。  
梱包材料（プラスチックバッグ、ポリスチレン、ネジ、材木等）は、怪我の危険がありますので、子供への届く処に放置しないで下さい。  
廃材は所定の施設又は所定場所へ廃棄して下さい。

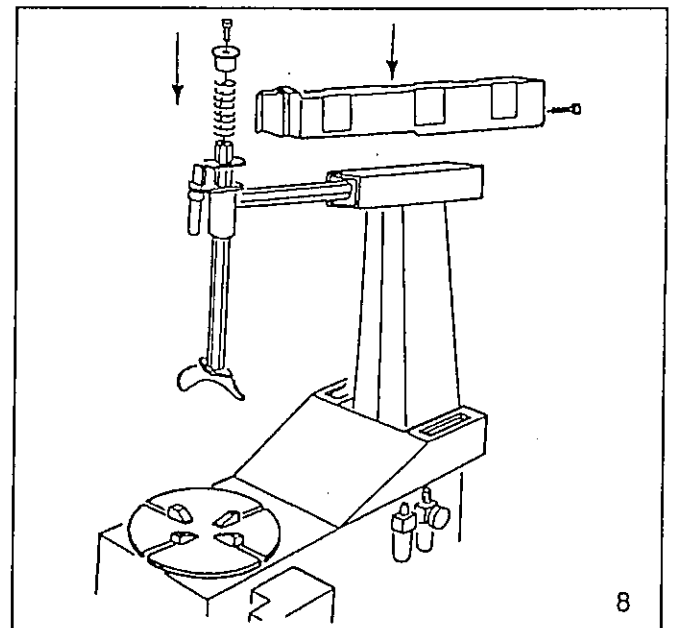
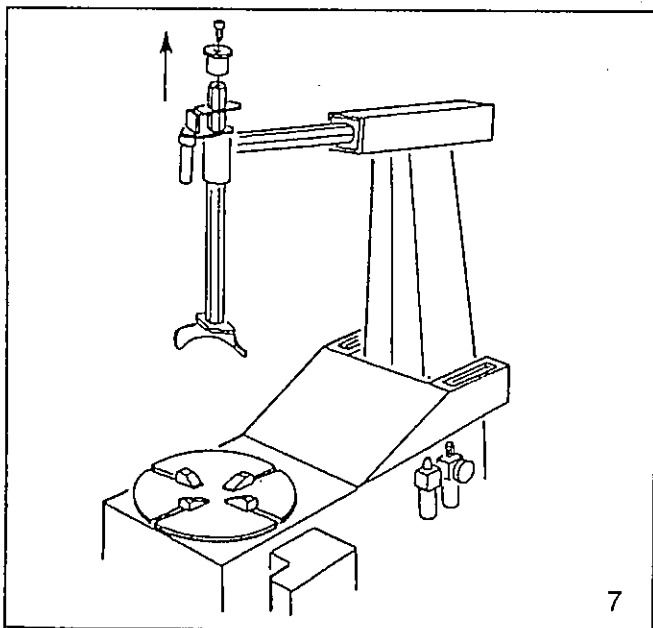
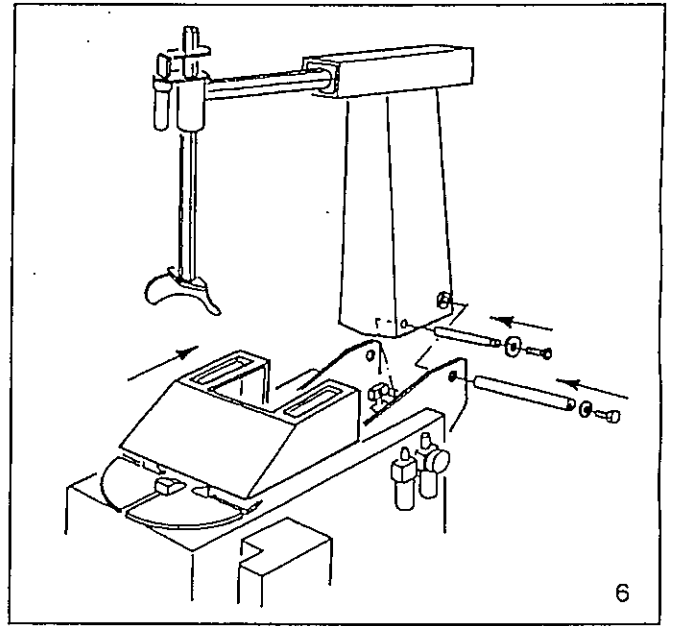
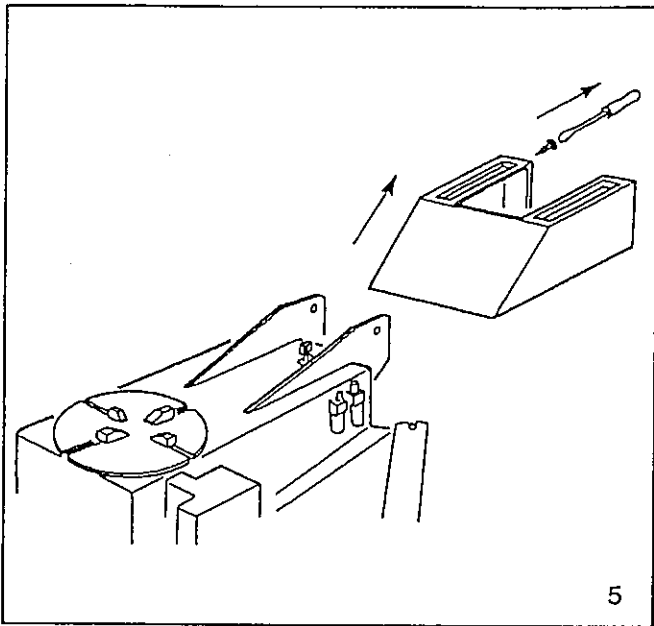


## 7. 組立及び始動

梱包を外し、各部品に異常の無い事確認した後、下の図の手順  
(図5-6-7-8)に従い各部の組立を行って下さい。

組立に必要な工具

マイナスドライバー  
六角レンチ  
プライヤー





## 警告

些細な事でも、電気回りの工事には専門家に依頼して下さい。

電源用には、機械本体から出ている1.5MM SQで、接続されるように3ポール+アースのケーブルを使って下さい。

電源は220Vで、接続部分はこの電圧にセットされています。  
電源ケーブルを電源電圧に接続する前に下記の事を確認して下さい。

- 電源が220Vである事。
- 道通の状態とアースの存在を確認する。
- 30mAのアース遮断機能付き自動オーバーチャージ遮断装置の存在を確認する。
- 機械のケーブルを三相のR. S. T. を接続して下さい。  
アースは絶対必要です。



## 注意

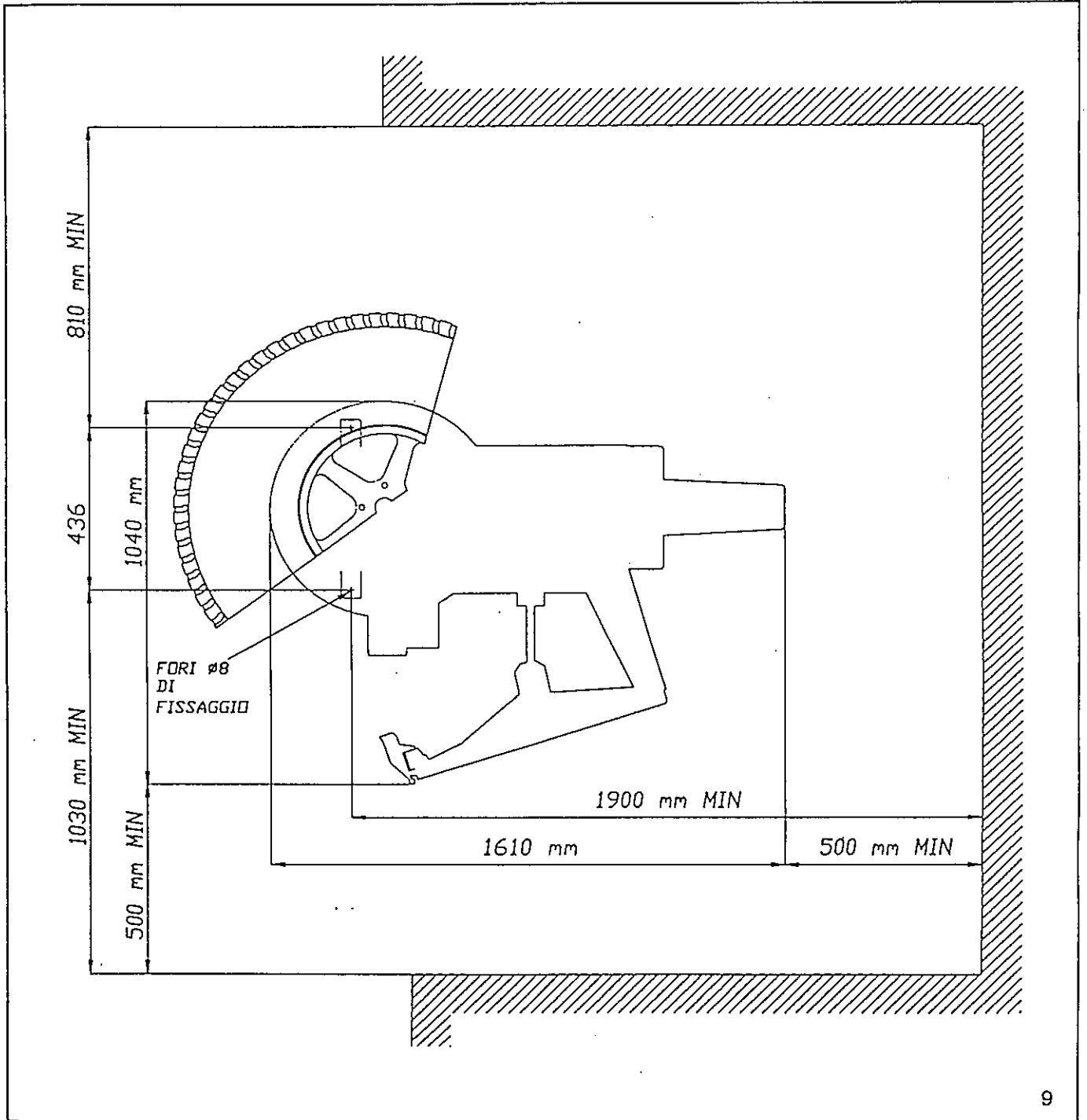
上の項目に従わないで、生じた故障にはメーカーはその責めを免除されるものとし、又保証はその効力を失うものとする。

## 8) 設置

### 設置スペース

この機械を設置するには、200CM X 200CMの場所が必要です。

図9.



作業者は機械全体が見られ又運転場所からその回り見渡すことができます。

作業者は、関係者以外の作業場所への立ち入りを禁じ、危険の元になる障害物を除いて下さい。又機械は水平の取れた場所に設置して下さい。コンクリートかタイル張りが望ましい)。 軟弱な土地や凸凹な場所への設置は避けて、床は機械の使用中の振動に充分耐え得るものにして下さい。又、指示に従いスクリューやアンカーボルトで地面に固定して下さい。

#### 必要工具

パーカッションドリル

8MM ドリルビット

- 1) MM径のドリルビットを使い穴をあける。
- 2) 穴をきれいにする。
- 3) ハンマーでアンカーボルトを静かに打ち込む。

#### 9. 長期放置の注意

長期に機械を使用しない場合は、電源を外し、タンク内のエアーを抜き、ほこり・塵等の付着で損傷を受けるとされる箇所には保護を付けて下さい。又錆びる恐れのあるパーツにはグリースを塗って下さい。

#### 10. 廃棄処分の注意

機械を使用しなくなった時には、電気駆動部分及び空圧駆動部分を取り外して操作出来なくして下さい。危険な部品、例えばエアータンクやモーターは、無害な状態にして下さい。

各部品をその廃棄基準に従い仕訳し、鉄はスクラップとして集積センターへ送って下さい。



## 警 告

日本の処理基準に従って廃棄処分を行って下さい。

## 11. 機械諸元

エアー元圧 : 10 bar  
モーター電源 : 200V 3相 50/60HZ  
モーター : 0.6~0.8 kW  
テーブル回転数 : 6.3rpm. (最小), 12.6rpm. (最大)  
テーブル回転速度 : 0.18m/s, 0.36m/s

### 単相モーター使用時

電 源 : 200V/100V 50/60HZ  
極 数 : 4ポール 0.75KW  
テーブル回転数 : 8rpm  
テーブル回転速度 : 0.24m/s

	最小	最大
幅	926mm	1226mm
奥行	1110mm	1610mm
高さ	1660mm	1730mm

重量 : 230Kg

エアータンク容量 : 25lt.

### 環境

対応温度 : 0℃~45℃  
対応湿度 : 57%~95% (40℃時)

### 使用特性

ホイールチャッキング : 内締め 12"~22"  
外締め 10"~19"  
ビードブレーカー : ビード落力 1500KG  
開幅 40MM~385MM  
最大タイヤ径 : 1060MM  
最大ホイール幅 : 10インチ  
テーブル回転トルク : 90~100KGM

## 12. 日常保守

効果的で正しい作動を続ける為には、以下のメンテナンス及び清掃を定期的に行ってください。



### 警告

メンテナンス及び清掃を行う人は、許可された人が後に記載したメーカーからの指図にそって行って下さい。

- 機械の裏側にあるオイラーの油量を定期的にチェックして、不足している時は補充する。(最低一ヶ月に1回) オイルはSAE 20
- エアラインのフィルターの水抜きを定期的に行なう。
- 月に一回程度、駆動パーツを清掃する。(六角シャフト、各スライド等)
- 初めの数時間の使用後、又定期的に機械をチェックし必要に応じて継手やボルトの緩みを増し締めして下さい。
- 2本の六角シャフトやマウントツールは常に綺麗にし乾燥状態を保って下さい。(清掃にはディーゼルオイルを使うと良い)
- 定期的にギヤボックスの油量をチェックし必要に応じてギヤオイルAPI 100又は同等のものを注油して下さい
- 回転ベルトの張りをチェックし、必要な場合はモーターの固定ボルトで調整する。
- 機械とその周囲をいつも綺麗にしておき、ほこりが機械に入らないようにする
- ターンテーブル上のチャッキング用爪のガイドに油をさす

#### オイルチャート表

メーカー名	種類
API	CIS 32 EP
MOBIL OIL	MOBIL VALVOLINE OIL 1405
SHELL	TONNA OIL T32
ESSO	FEBIS K32
BP	ENERGOL GH1 32
AGIP	EXIDIA 32
FINA	HYDRAN CIN 32



### 注意

- ・ 全てのメンテナンス作業は、必ず電源を切った後行なうこと。
- ・ 圧縮エアにて清掃しないこと
- ・ 下記の場合は保障期間内であっても、有償扱いとさせていただきます。
  1. 上記保守事項を怠った場合の故障修理。
  2. 正規な操作手順をせず破損した時。

### 13. 使用

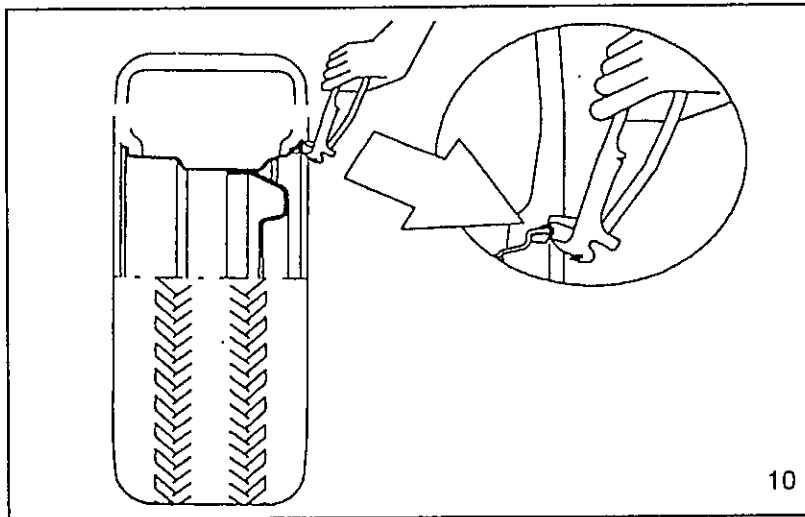


## 警告

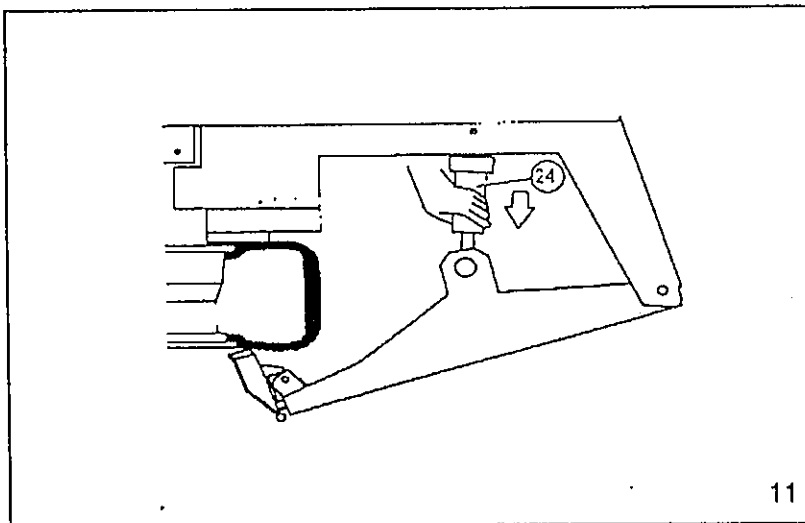
オペレーターの安全のため、指定された人のみ使用するようして下さい。  
このマニュアルに中で説明されている詳しい使用方法を理解していない人が  
使用することは、大変危険なことです。又、もし禁止事項を守らずに生じた  
故障、損害はメーカーはその責めを負いません。

#### タイヤの取り外し方

- タイヤのエアを抜く
- ホイールリムに付いた古いウエイトを全て取り外す。 図10.

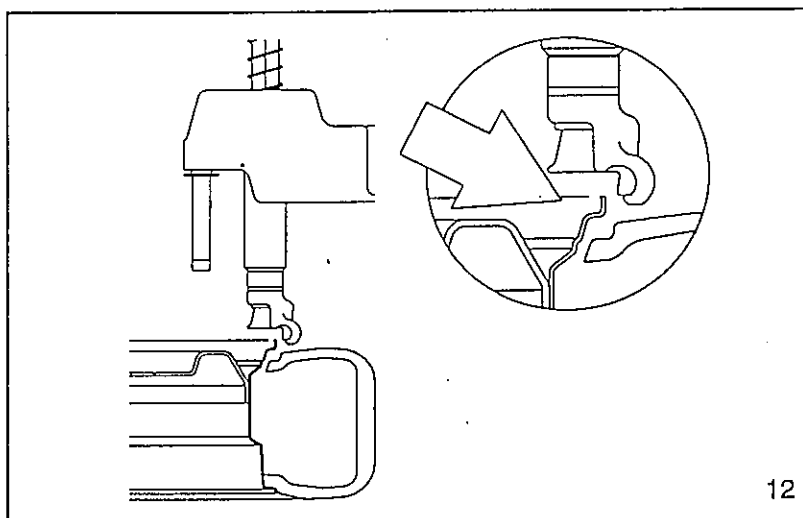


- タイヤのビードを落とす
  - a) ビードブレイカー (NO. 3) とパッドの間にタイヤをもってくる。
  - b) 調節ネジ (NO. 24) でブレードがタイヤに食い込みすぎ無いように調節する。 図11.

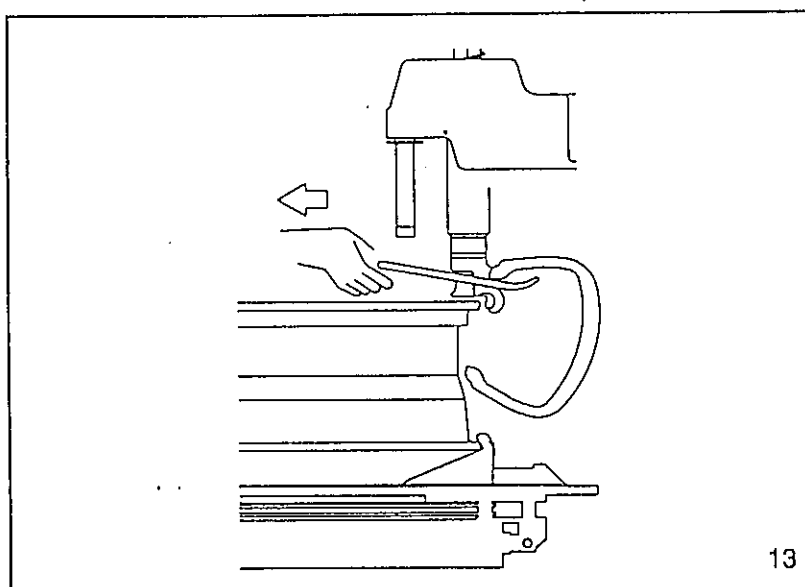


- c) ブレードをビードに当てペダルNO. 5を踏む。
- d) この作業をリム回り全体に繰り返す。
- e) ホイールの反対側のビードも落とします。

- ホイールをターンテーブルに乗せ、ペダル (NO. 6) を踏んでロックします。
- ペダル (NO. 7) を踏みシャフトを立てる。
- マウントツール (NO. 2) をホイールリム際でロックする。図12

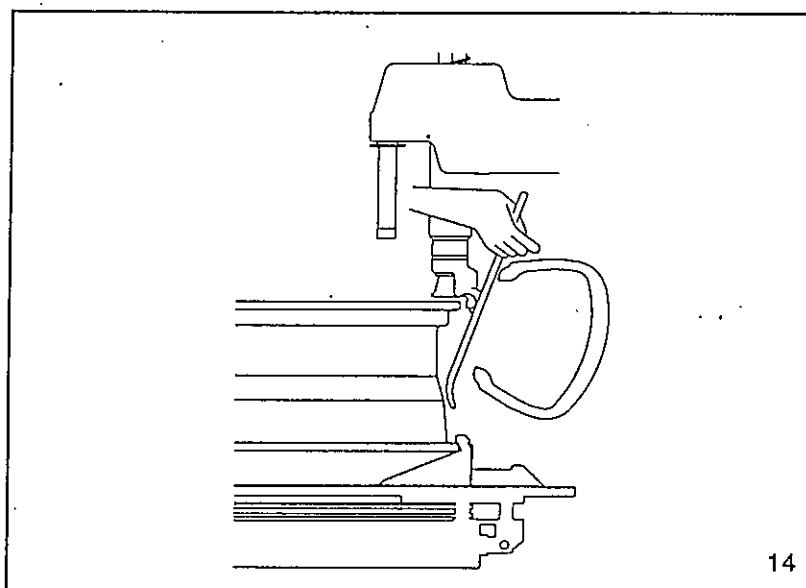


- タイヤレバーを使い上のビードをマウントツール (NO. 2) の背に乗せる。図13.





- ペダル (NO. 4) を踏んでターンテーブルを時計廻りに回し上のビードを外す。
  - 下のビードをリムから外す。
- タイヤレバーでビードをマウントツールにのせる。図14。



14



## 注意

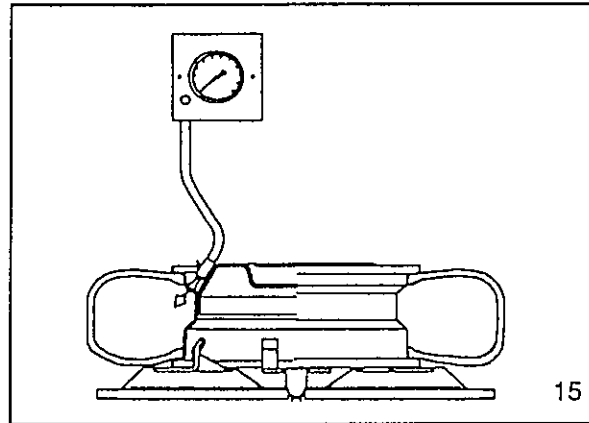
作業中は可能な限り手/腕を動いているパーツから離すこと。  
又ネックレス、ブレスレット、だぶだぶした服装は作業者にとって  
大変危険です。

### タイヤの糸且み付け

- ホイールをターンテーブルに載せロックする。
- グリース (ワックス) をタイヤのビード/ホイールのリム部にぬり、タイヤを載せる。
- コラム (NO. 1) を立てマウントツール (NO. 2) をセットする。
- ターンテーブルを回しながら下のビードをツール (NO. 2) に引っかける
- ターンテーブルを回時計廻りに回転させビードをホイールの溝に入れる。

## エア給気

—この機械には給気用のエアゲージが内蔵されています。 図15。



## 注意

この機械には、エア給気中にタイヤがバーストした場合の十分な保護装置が付いていません。下記のタイヤ給気作業の手順に従わないと大変危険です

## タイヤの給気

- a) チャッキングを解いてホイールを自由にして下さい。
- b) タイヤバルブにエアチャックを取り付ける。
- c) タイヤメーカー指定の最大エア圧を越えないように気を付けながら軽くゆるとペダルを踏み給気する。
- d) バーストした際のダメージを避けるために両手／体を出来るだけホイールから離して下さい



## 注意

タイヤ給気は大変危険です。この作業を始める前には必ずタイヤに傷／ダメージ等ないか確認して下さい。作業中は集中して、決してタイヤメーカーの指定する大圧を越えないように、エアゲージでチェックして下さい

給気作業中には決して3.5 BAR / 40 PSI を越えた圧をかけないようにしてください  
ビードとリムに十分にワックス／グリースを塗ると、より簡単に又安全に作業が行えます。

故障	原因	解決方法
-ターンテーブル(可逆スイッチ)のペダルを踏むとヒューズがきれる。	-漏電している。 -可逆スイッチのショート。 -モーターのショート。	-ケーブルをチェックする。 -可逆スイッチを交換する。 -モーターを交換する。
-ターンテーブルのペダルが元に戻らない。	-可逆スイッチのスプリングが壊れている。	-スプリングを交換する。
-ビードブレーカーの力が足りない。	-サイレンサー詰まり。 -シリンダーのガスケットが抜けている。	-サイレンサーを交換する。 -ガスケットを交換する。
-ターンテーブルがどちらにも回らない。	-可逆スイッチの不良	-可逆スイッチを交換する。
-ターンテーブルが回らない。(モーターがうなり音を上げる)	-モーターが2相で回っている。	-プラグと可逆スイッチの接触を点検する 各ターミナルを増し締めする。 -可逆スイッチを交換する。 -モーターを交換する。
-タイヤ取り外し中にターンテーブルが止まる。	-Vベルトのテンションが緩んで、ベルトがスリップしている。	-Vベルトを調整する。 -Vベルトを交換する。
-六角シャフトが適切な位置でロックしない。	-ロックシステムが正しく調整されていない。	-調整ナットで調整する。

#### 部品表について

機械付属の英文取説を参照して下さい。メーカーの都合等により、機種によってはマイナーチェンジ(一部部品の改良)を行う時があります。従って他の機械に付属した部品表を参照すると、部品番号が変わっているときがありますのでご注意下さい。

部品を注文されるときには、8桁の部品番号及び機械本体のシリアル番号を明記の上発注するようお願いします。